

令和4年度 稲生小学校 学校経営の改革方針

1 学校教育目標

「人間性豊かで、たくましい実践力をもった子どもの育成」

2 めざす学校像

「あいさつが響き合い 笑顔いっぱい 思いやりにあふれる学校」

- ・確かな学力・健やかな体を育む学校
- ・一人ひとりが大切にされる学校
- ・家庭や地域に信頼され、ともに創り上げる学校
- ・子どもの成長を喜び、教職員自らも成長し続ける学校

3 めざす子ども像

いのち こせんげん
稲生つ子宣言

一 笑顔で 自分からあいさつをします
二 仲良く遊んで いつも元気でいます
三 仲間とともに しっかり学びます
四 感じて 考えて 正しい行動をします
五 稲生を愛し みんなにやさしくします
六 夢を持ち あきらめずがんばります

きりつ きんべん しょうじき
規律 勤勉 正直

さち いのち
幸あれ 稲生つ子

〔平成二十六年一月 稲生小学校学校運営協議会策定〕

4 めざす教職員像

- ・教育に対する使命感と誇りをもち、学び続ける向上心のある教職員
- ・子どもたちに深い愛情を注ぎ、子どもとともに生きる姿勢をもつ教職員
- ・主体的・協働的に行動できる教職員

5 経営方針及び達成方策

(1) 「チーム稲生」を意識した組織的な学校経営を行う。

- 学年主任を柱とした学校組織の構築
- 危機管理体制の確立 迅速な報告・連絡・相談と確認の徹底
- やりがいや満足感をもって仕事ができる職場づくり

(2) 子どもたちの「生きる力」を育む教育課程を創造編成する。

- 系統性、横断的な視点でのカリキュラム・マネジメントの推進
- 全国学調・みえスタ・体カテストの結果分析を通じた授業改善
- ICTを効果的に活用した授業づくり

(特別支援教育の視点, 教科担任制, 習熟度別学習, 図書館活用)

(3) 人権教育, 特別支援教育をベースにした教育活動を推進する。

※合言葉「みんなが $\textcircled{あ}$ $\textcircled{ん}$ $\textcircled{し}$ $\textcircled{ん}$ できる稲生小学校」

- 児童の実態把握に基づく人権教育の推進
- 児童理解と, 特支 Co を核とした全校で見守り育てる特別支援教育の推進
- 問題行動の未然防止
- 家庭との連携, 「鈴鹿市不登校対策初期対応マニュアル」を活用した不登校対策: 欠席日数の減少
- 「いじめ防止基本方針」に沿ったいじめ防止の徹底
- コロナ禍における自助能力の育成(防災・減災教育の推進)

(4) 家庭や地域とともにある学校づくりを推進する。

- 学校運営協議会での熟議の推進
- ゲストティーチャーやボランティア等地域人材の活用と地域学習の推進
- 学校だよりや HP による学校情報の発信

総勤務時間の縮減に向けた取組

- ・月 45 時間, 年 360 時間を超える時間外労働者の年間の延べ人数: 0 人
- ・1人当たりの月平均時間外労働時間: 30 時間以下
- ・1人当たりの年平均休暇取得: 22 日以上
- ・設定日に定時退校できる職員の割合: 90%以上
- ・放課後に開催され 60 分以内に終了する会議の割合: 70%